

普及現地情報



発信年月日：令和4年(2022年)4月19日

所属名：大津・南部農産普及課

番号：A22001

部門分類：160 果樹

発信者名：村井、和田真歩

県内初・ナシ新技術 樹体ジョイントへの仕立て実演!! ～県内から多数の若手生産者集まる～

守山市北部の「もりやまフルーツランド」ナシ園では、既存園地を新品種×新技術を用いて改植を進めることで新たな果樹園経営を目指されています。当課では、その実現に向け、県内初となるナシ新技術に向けた仕立て方法の実演・指導を行いました。

今回用いた技術は神奈川県で開発された「ナシ樹体ジョイント仕立て」です。この技術は、早期成園化、作業省力化、樹勢均一化等のメリットがあります。導入品種は「香麗（こうれい、8月上旬に収穫できる早生品種）」です。併せて一つのナシ園地内の品種を同一にすることで、品種に合わせた管理や産地で計画されている観光農園に適した園地とすることができると提案し、改植を進めてきました。

今回、定植した大苗を隣接樹にジョイントする適期を迎えたため、農業技術振興センターと共に実演指導を計画したところ、当日(4/8)には、導入生産者のもとより、実演情報を聞いた県内若手ナシ生産者や普及指導員等が計20名集まる実演会となりました。

実演会では、ジョイントに向けた主枝の誘引、残す芽の選ぶ基準、枝の切り込み位置および方法、ジョイント部位の固定方法等の指導を行いました。また、効率的なジョイント方法について、普及指導員や生産者間で意見交換が行われました。

今後も、当産地では、同技術を用いた様々な新品種への改植が計画されています。当課では、この技術が適切に導入されるよう、この先の管理指導を行っていきます。



作業を通じて情報交換を行う若手農業者



実演したジョイント部位の様子



ナシ樹体ジョイント仕立て樹形